



MIWA SEMINAR

明治大学



東京金融賞
サステナビリティ部門
サステナブルファイナンス
人材育成カテゴリ

明治大学商学部
三和ゼミナール



報告内容

01

三和ゼミナールの紹介

解決を目指す社会課題: サステナブルファイナンスの
人材育成

02

取組の概要と成果、独自性:

①バリア島研修(2023年)

②JSI、野村アセット株式会社との共同セミナー

③統合報告書学生レビュー

④ゼミナール募集時の学生の活躍

03

取組の社会的インパクトとその影響範囲

04

国際的優位性と東京都の取組との親和性

三和ゼミナールの紹介

明治大学三和ゼミナール(1997～)

目的: サステナブルファイナンス人材の育成(「愛ある金融」を實踐し、社会を変える人材育成)



MIWA SEMINAR
明治大学

【教育領域】

- ・持続可能な金融(ESG・インパクト投資)
- ・機関投資家とコーポレートガバナンス
- ・グローバルな社会課題の理解(気候変動・貧困)

【取組の内容】

- ・①現地研修(例:バリ島 su-re.co)
- ・②実務家連携セミナー(JSI・FDFS・Woman in ETFs・資産運用会社)
- ・③統合報告書レビュー(企業様からの正式依頼、2023年から2025年7社)
- ・④学生主体の取組み:ゼミナール募集時の活動

【成果】

- ・社会的インパクト
- ・累計卒業生300名超が金融・企業・行政で活躍
- ・企業のサステナビリティ開示向上に寄与
- ・若者のスチュワードシップ意識調査を全国発信



担当教員の紹介: 三和裕美子

三和裕美子 (みわ・ゆみこ)

1998年 大阪市立大学大学院経営学研究科後期博士課程単位修了 博士 (商学)

現在 明治大学商学部教授 博士 (商学) 「機関投資家論」担当
ミシガン大学客員研究員 (2006年~2008年)

エーザイ株式会社社外取締役 (2020年~2025年6月)

ピジョン株式会社社外取締役

オークマ株式会社社外取締役

全国市町村職員共済組合連合会 資金運用委員会委員

地方職員共済組合 年金資産運用検討委員会委員

東京財団政策研究所 資産運用委員会委員

金融庁 NISAに関する有識者会議メンバー

日本経済新聞社主催「第1回~第5回 統合報告書アワード」副審査委員長

日本経済新聞社主催「第1回 機関投資家レポートアワード」審査委員長

著書 『機関投資家の発展とコーポレート・ガバナンス』日本評論社、1998年

Corporate Governance in Japan(共著)シュプリンガー・フェアラーク東京、2006年

『東アジアとアセアン諸国のコーポレート・ガバナンス』(共著) 税務経理協会、2016年

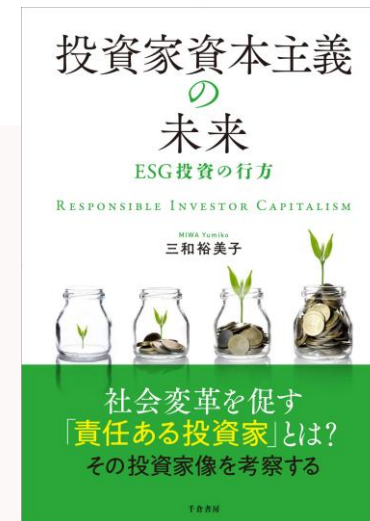
『企業の論点』(共編著) 旬報社、2021年5月

『資本市場を駆け抜けた女たち』白桃書房、2022年3月

『投資家資本主義の未来』千倉書房、2024年5月

研究分野 商学・経営学：機関投資家とコーポレート・ガバナンス、株主アクティビストによる影響、ESG投資、戦前期の株式市場の特性

機関投資家論Bにてサステナブルファイナンスを教える。
ゼミとの有機的関連
受講生：2007年より700人を超える。



株式会社 極東書店 Far Eastern Booksellers KE2025-62 / September 2025 データベース新商品のご案内

編集・解題：三和裕美子 (明治大学商学部教授)
兜日本株価指数オンライン版
— 明治から戦後をつなぐ、日本初の株価インデックス —

渋沢栄一が設立した東京株式取引所 (1878年) から、戦後再開 (1951年) までの株価指数を体系化。TOPIXとの比較も可能に

戦前と戦後をつなぐ、経済の記憶
指数で読み解く、日本の144年

◆編集・解題：三和裕美子 (明治大学商学部教授)
◆リリース予定：2025年12月
◆契約設定：買い切りもしくは年間契約 (予定)

※大学・学術機関向けIPアドレス接続/同時アクセス無制限でのご利用となります。

2025年12月リリース予定!! 詳細お問い合わせは弊社まで

出版・発売元 極東書店

FAR EASTERN BOOKSELLERS 〒101-8672 東京都千代田区千代田2-10-10 極東ビル4F 03-3205-7331 FAX 03-3205-7333
KYOKUTO SHOTEN LTD 〒101-8672 東京都千代田区千代田2-10-10 極東ビル4F 03-3205-7331 FAX 03-3205-7333
https://www.kyokuto-bk.co.jp info@kyokuto-bk.co.jp

取組の概要と成果:

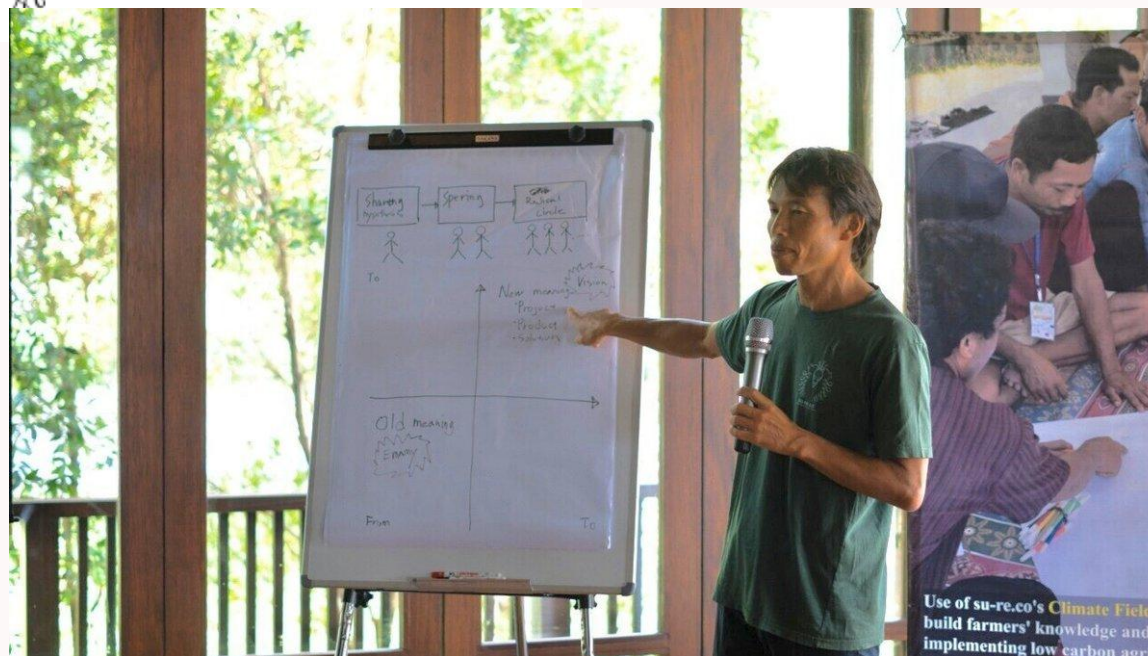
①バリ島研修(2022年)No.1



su-re.co
Sustainability & Resilience

「気候変動問題のThink-Tankとして研究を行うのみでなく、研究結果をもとにDo-Tankとして課題解決のために実際にビジネスを行い、さらに、これらの活動で得た知見を共有し、気候変動問題の解決や持続可能な社会の実現に取り組むコミュニティの創造、すなわちBe-tankとしての活動へ繋げている」

オックスフォード大学で環境学博士を取得し、国連組織やJICA、世界最高の環境シンクタンクであるストックホルム環境研究所で活躍してきた 高間剛氏により立ち上げあげられた。



su-re.co がアプローチする社会課題

1. 気候変動

2010年～2039年にはインドネシアの多くの地で降水量が減少しており、インドネシアの総人口の30%に当たる7500万人の農家に悪影響を及ぼす。

2. 農家の貧困

インドネシアの農家の多くは未だに薪からの焚火で生活しているため、煙による健康被害や地球温暖化の深刻化が問題となる。

取組の概要と成果

①バリ島研修No.2

- ・現地の小学生たちと川のごみ拾い
- ・たい肥を利用した再生可能エネルギー、バイオマスの可能性を探る



取組の概要と成果:

②FDFS(一般社団法人 科学と金融による未来創造イニシアティブ)、JSI(ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ)、Women in ETFs、野村アセットマネジメントとの共同セミナーに参加・発表(2024年・2025年)

イベント概要・周知活動



北九州-東京の中継

GX DAY in Tokyo
FDSF開催・JSI運営協力
学生・大学関係者向けイベント

11/26 (火)

9:30-12:30: FDSF Japan Tour 2024 in 北九州と中継 (東京会場のセッションもあり)
12:30-14:00: 昼食交流会

◆ FDSF等主催の「北九州GX DAY ~北九州GX推進コンソーシアム総会&FDSF Japan Tour ~」と東京会場を中継し、大学関係者を対象にしたイベントを開催。JSIは運営を協力。

◆ 目的:本イベントを通じてGXを推進するサステナブル金融における様々なキャリア(VC、インパクト投資、責任投資)があることを理解し、興味を持ってもらう。JSIは、これまでのマルチステークホルダーへのアウトリーチの成果を共有し、責任投資の意義を説明し、対象者である学生、大学教授との接点を更に広げ、深める機会とする。

◆ 明治大の三和教授、一橋大の円谷教授と連携し、受講生やゼミ生に授業の一環としてご参加いただけることを確認。その後左のようなフライヤーを作成し、WE(Women in ETFs)、FDSF登録学生に周知。その他、野村アセットの責任投資調査部中心に知り合いの教授にご案内。



■ 北九州会場では野村アセットの今村氏が登壇。明治大嶮口さんへ「(起業を目指す学生コミュニティの)MECの目指す社会性、ソーシャルインパクトはどのようなものが多いのか? 求めるサポートは?」と投げかけた。



■ 東京会場では、明治大三和教授が大学生のスチュワードシップ意識調査結果を紹介しつつ、サステナビリティへの意識が高い学生を育てる大学教育の役割について問題提起。
■ 明治大長谷川さんはフィリピンで目指す起業プロセスについて熱く語った。

日程: 2024年11月26日(火)9:30-14:00 (開場9:00)
場所: 東京都江東区豊洲2-2-1
豊洲ベイサイドクロスタワー 3階+C(プラスクロス)内 Room A
定員: 80名(対象 大学生、大学院生、大学教員、キャリアセンター関係者)
参加費: 無料
参加登録締切: 11月22日(金) [参加登録はこちら](#)



当日プログラム(一部抜粋)

9:30-9:40	ご挨拶 FDSF代表理事 小野塚氏、シブサワ・アンド・カンパニー 洗澤氏
9:45-11:50	北九州市会場のセッションを視聴
11:50-12:30	FDSF運営・JSI協力企画 登壇:野村アセットマネジメント 今村氏、T&D保険グループ 平本氏、明治大学 三和教授・商学部 長谷川氏、嶮口氏、FDSF 野村氏(モデレーター)
12:30-14:00	昼食交流会(軽食をご提供します)資産運用業界の紹介

FDSFサイトに繋がります。参加申込するチケットを申し込む【中継会場(東京)午前】をお選びください。

JSI
Japan Stewardship Initiative

JSI(ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ)は、資産運用業界における業界横断的な団体として、スチュワードシップ(機関投資家などが長期的な価値創造を促進するために果たすべき責任)の高度化を目指して活動しています。アカデミアの科学的知見を社会に実装する取り組みとサステナブルファイナンスを通じて、新しい資金循環の促進を目指すFDFS(科学と金融による未来創造イニシアティブ)による、学生・大学関係者向けイベントの運営協力をします! もちろん文系の学生さんも大歓迎です。奮ってご参加ください。

取組の概要と成果:

③ 統合報告書学生フィードバックサービス

2023年から3年連続で参加：これまでに担当した企業：
レゾナックHD、日本ハム、日本酸素、理研ビタミン、塩野義製薬、小田急電鉄、CACホールディングス

本サービスご採用のメリット

投資家以外の マルチステークホルダー 対策



従業員や学生など、多様なステークホルダーへの対策に役立つことを重視しています。分析レポートや学生の発表をまとめた動画等のアウトプットを、社内の改善や今後の対策の議論に活かすことができます。

学生の 率直な視点



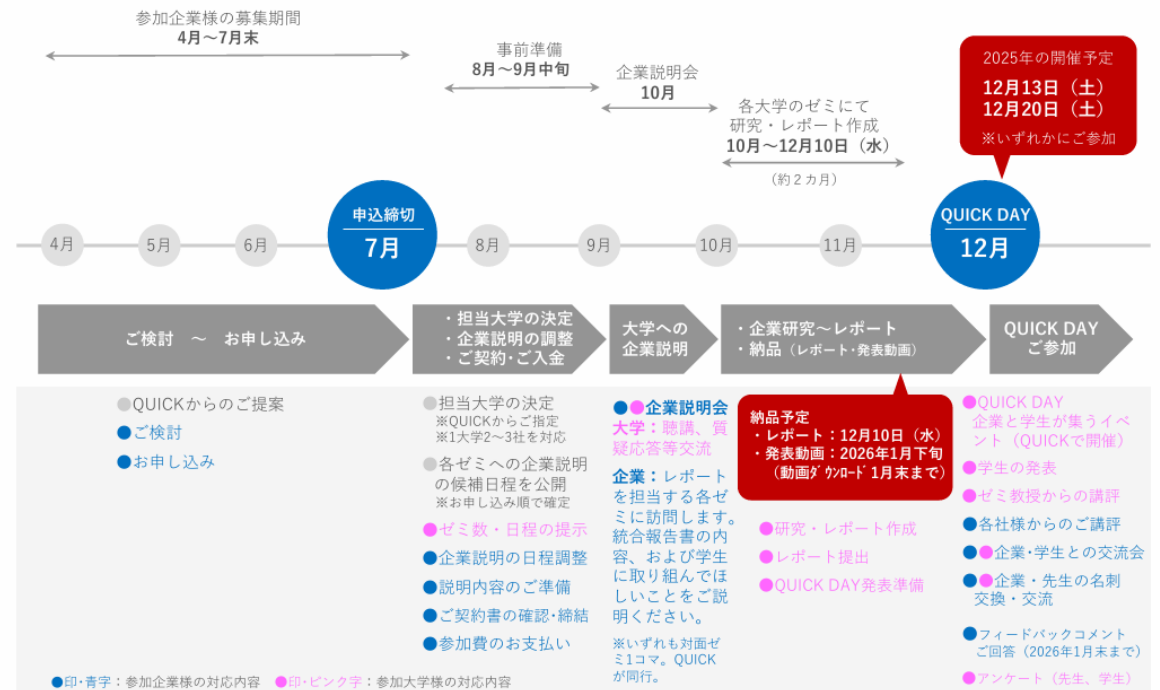
企業・財務戦略やコーポレートガバナンス、サステナビリティ等を専門とする大学ゼミの学生が統合報告書を分析。質の高い知識をベースにしながらも、若い学生ならではの真っ直ぐな意見には驚きがあります。

大学訪問やQUICK DAY を使った直接交流



大学のゼミ時間を利用した企業説明会、学生のレポート発表・交流をメインとするQUICK DAYをアレンジします。QUICKの中立的な立場を活かしたコミュニケーションの場を提供します。

2025年の実施スケジュール



© 2025 QUICK Corp. All Rights Reserved.

(2025年8月現在)

取組の概要と成果

④ゼミナール募集時の学生の活躍

応募者数: **68名** (前年比**213%**増)

商学専門演習室 **第3位** (46室中)

5回のゼミガイダンス実施(**全ゼミ最多**)

積極的な**Instagram**での発信



取組の社会的インパクトとその影響範囲

【教育インパクト:人材輩出】

- ・累計**1,000**人以上のサステナブル金融人材を輩出
- ・金融機関・企業・行政機関などの**最前線**で活躍

【企業インパクト:開示・経営】

- ・統合報告書レビューで企業開示**高度化**に寄与
- ・ピジョン社:Z世代の価値観を経営に反映

【社会インパクト:学術・政策】

- ・スチュワードシップ意識調査を全国発信
- ・**若者×機関投資家**という新たな政策論点を提示

社会的インパクト事例①:ピジョン株式会社様社内報



2025年12月号
日本語・英語・中国
後で世界の従業員に
向けて発信

- Our sustainable journey 12月号「未来を担う世代の視点～三和ゼミの皆さんに聞く、次世代のリアルな価値観とサステナビリティ意識～」
- 🇬🇧 OSJ "Perspectives from a Future Generation: Values and Sustainability Awareness Among Students"
- 🇨🇳 Our Sustainable Journey 12月号 "肩负未来新一代的视角——聆听明治大学三和研讨团队成员谈论新一代的真实价值观与可持续发展意识"

社会的インパクト事例②

2022年度の成果物

- 一橋大学・円谷教授の協力のもと、一橋大学学生に対しスチュワードシップに関するアンケート（意識調査）を実施（商学部1年生248名および経済・法・社会学部1～4年生160名の計408名が回答）
- アンケート結果に基づき円谷教授がレポートを発表（http://tsumuraya.hub.hit-u.ac.jp/data/GSS2210_P004-011.pdf）

2023年度の成果物

- 2022年度のアンケートを改良し、明治大学三和教授のご協力のもと、主に明治大学の学生に対してアンケートを実施
- 商学部の学生343名（1年生134名、2年生46名、3年生107名、4年生56名）が回答（別途千葉商科大学の学生75名からも回答を受領）
- 明治大学商学部のアンケート結果に基づき、三和教授が月刊資本市場の2024年7月号にレポートを発表

2024年度の成果物

- 明治大学・三和教授、一橋大学・円谷教授の協力のもと、学生・大学生向け対面イベントを初めて運営協力
- FDSF等主催の「北九州GX DAY ～北九州GX推進コンソーシアム総会&FDSF Japan Tour～」と東京会場を中継
- 東京会場では、学生・教授・JSI関係者等41名が参加。北九州市と中継して実施したパネルディスカッションには三和教授と明治大学生2名が東京から登壇
- ランチ交流会では、JSIメンバー4社が資産運用業界の魅力について紹介

JSIホームページより

■論文■

大学生のスチュワードシップ意識調査

～将来世代と機関投資家の連携の可能性～ 明治大学編



明治大学商学部 教授 **三和 裕美子**

ジャパン・スチュワードシップ・イニシアティブ

月刊資本市場(2024年7月号)

国際的優位性

国際的潮流・基準	三和ゼミの取組内容	国際的優位性（理由）
① ESG・インパクト投資の制度化（EU SFDR / ESRS / ISSB）	ESG/インパクト投資の体系化・国際基準（TCFD・ISSB等）学習	世界標準の金融教育を学生に付与
② スチュワードシップと企業対話の高度化（欧州）	統合報告書レビューによる企業分析・投資家視点の育成	学部生が企業対話に関わる国際的にも先進的なモデル
③ Next Generation Stewardship（欧州）	スチュワードシップ意識調査・Z世代の価値観提供	日本版 Next-Gen Stewardship の先駆例
④ Future Talent ESG Programs（英国）	ESG教育・運用会社/投資家団体との連携セミナー	実務家と学ぶ ESG 人材育成プログラムを構築
⑤ SDGs/GX・国際課題対応	バリ島 su-re.co での現地課題解決型研修	世界の Problem Solving Education に合致
⑥ 国際専門家との協働（国連/世界銀行/JICA）	国際専門家（高間剛氏等）との研修・国際投資家ネットワーク連携	国際ネットワークに学生が直接アクセスできる教育体制
⑦ グローバル金融都市の人材要件（欧州・アジア）	三位一体教育モデル・卒業生300名超が金融界で活躍	世界基準の人材供給源となっている

東京都の取組との親和性

東京都の重点施策	三和ゼミの取組内容	親和性（理由）
① サステナブルファイナンスの拡充	ESG教育・統合報告書レビュー・インパクト投資教育	都の重点テーマと完全一致
② 専門金融人材の育成強化	卒業生300名超を金融業界へ・実務家連携	即戦力の若手金融人材を継続供給
③ 若年層×ESG理解促進	Z世代意識調査・企業への価値観提供	欧州型 Next-Gen Stewardship と整合
④ 国際ネットワークの強化	バリ島研修・国際投資家団体との連携	国際金融都市に必要な協働力
⑤ 企業の開示高度化支援	統合報告書フィードバック（3年連続）	企業の開示改善に直接寄与
⑥ 金融エコシステムの形成	企業×大学×運用会社の三位一体プログラム	東京都モデルの具現化
⑦ GX・気候変動人材育成	現地での気候×貧困×再エネ課題体験	GX人材育成に合致



MIWA SEMINAR

明治大学

ご清聴ありがとうございました。

